

旭中央地区

きらっとあさひプラン

第3期 旭区地域福祉保健計画
平成28年度～32年度

旭中央地区は、北西から流れ込む帷子川と南西からの二俣川の合流地点の西側丘陵を主体にした地域です。分水嶺が町境となっています。市街化調整区域を含みますが、幹線道路に囲まれた地区となっています。

人口、世帯数ともほぼ横ばいで、年齢別人口構成は、旭区の平均と非常に近いものとなっています。



■めざす地区の姿

コミュニケーションが活発なまち

- ・この街に住んで良かったと思うまち
- ・お年寄りから子どもまで全ての人が、楽しく安心して生活できるまち

■3期計画の主なポイント

これまでの活動を継続しながら、地域の交流を深め、お互いに助けあえる環境を作ります

■目標A

連動する区計画の柱 2 安心して自分らしい生活ができる地域づくり

地域交流の充実

■具体的な取組

- コミュニティバス「四季めぐり号」・・・コミュニティバス「四季めぐり号」運行委員会
- 災害時ひとりも見逃さない運動・・・自治会町内会・民生委員児童委員協議会
- 防犯パトロール・・・自治会町内会
- 三世代美サイクルふれあいのつどい・・・地区社会福祉協議会・地域住民

■目標B

連動する区計画の柱 3 地域の取組で元気力アップ

高齢者支援の充実

■具体的な取組

- 健康づくり
 - ウォーキング・・・保健活動推進員
 - 町ぐるみ健康づくり教室・・・自治会町内会
- ひとり暮らし高齢者昼食会
 - ・・・地域ボランティア・民生委員児童委員協議会
- 高齢者交流サロン・・・地域ボランティア
- 高齢者懇親会・・・地区社会福祉協議会



■目標C

安心して子育てが出来る地域づくり

■具体的な取組

- 子育て支援「かみふうせん」・・・民生委員児童委員協議会
- 登下校見守り・・・自治会町内会



■目標D

障がい者理解の土壌づくり

■具体的な取組

- 障がい施設が地域内になく、なかなか繋がる機会が少ないですが、相互に理解が深められるよう、障がいを理解できる土壌を作ります。

・・・地区社会福祉協議会・地域住民

三世代美サイクルふれあいのつどい

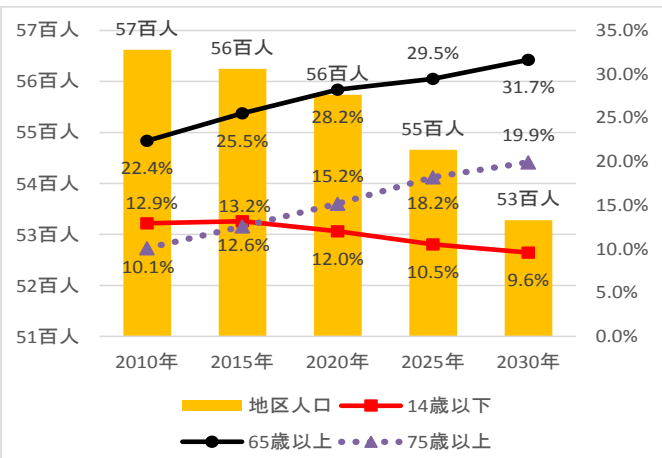
年齢や障がいの有無を問わず、広い世代が集い交流できる行事です。いつまでも「この街に住んでいてよかった」と地域の方々に感じてもらえるよう街の美化にも取り組んでいます。



■人口データに見る地区の特徴

- ・人口ピラミッド 2015年3月を見ると、旭区平均（折れ線）と比べてみると、特に女性はよく似た構成となっている。
- ・人口の推移では、この5年間でわずかに減少しました。高齢化率は約3%増加したが、旭区平均より低くなっています。
- ・世帯数はこの5年間で約50戸増加しています。また、世帯人員は2015年で2.32人/戸となっています。
- ・地区の将来人口の予測では、2020年で約5600人、2025年で約5500人と見込まれます。また、高齢化率は2020年で約28.2%、2025年で約29.5%になると見込まれます。

※人口・世帯数の数値は町丁目単位での集計のため、町丁目が地区をまたぐ等により、実際の数値と一致しない場合があります。



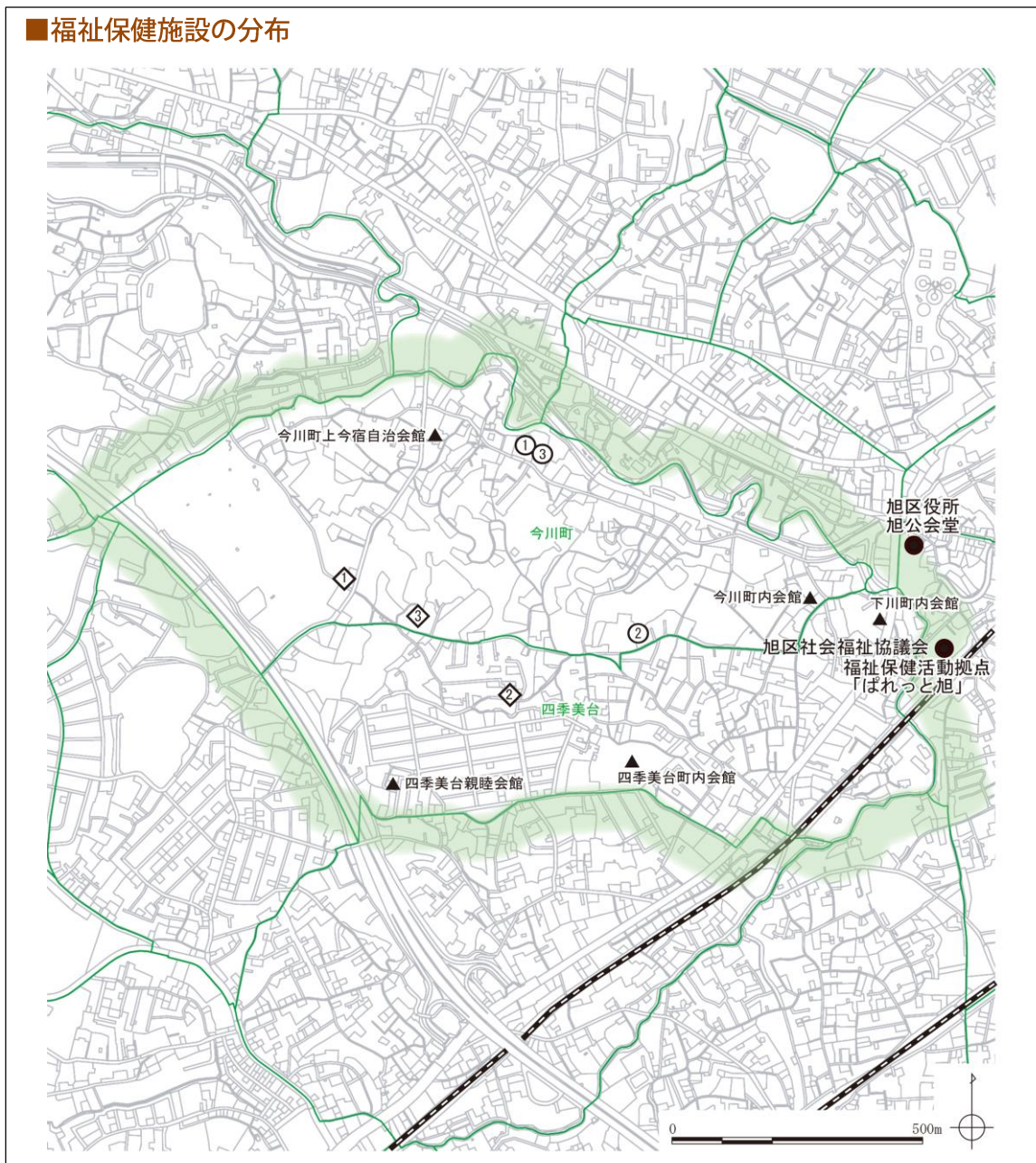
■2期計画の振り返り

- ・町ぐるみ健康づくり教室が地域内で開催され、自らの健康を気遣い生活をする高齢者が増えた。その結果、自治会町内会や保健活動推進委員が実施している、健康イベントに多くの方が参加している。
- ・高齢者昼食会のみならず、高齢者向けのサロンや居場所づくり事業が多くのボランティアによって実施されている。また参加者だけでなくボランティアの活動場所・居場所にもなっている。
- ・子育て支援「かみふうせん」は親子で気軽に参加し、子どもを遊ばせながら子育てや生活の情報交換ができる機会となっており、多くの方が参加している。

■地区の福祉課題

- ・地域活動の担い手が高齢化してきている。
- ・新たな担い手がなかなか見つからない。
- ・子供の遊ぶ場所や、子供が地域と繋がる機会が少なくなっている。
- ・マンションが建ちはじめ、近所付き合いが少なくなっている。

■福祉保健施設の分布



■施設リスト

子ども

認定保育所

- ① ちとせ保育園

認定こども園

- ② もりのこ

放課後児童クラブ

- ③ アガペー学童保育

高齢者

認知症対応型共同生活介護(グループホーム)

- ④ のぞみの家
- ④ あさひ別荘

介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)

- ④ 今川の郷